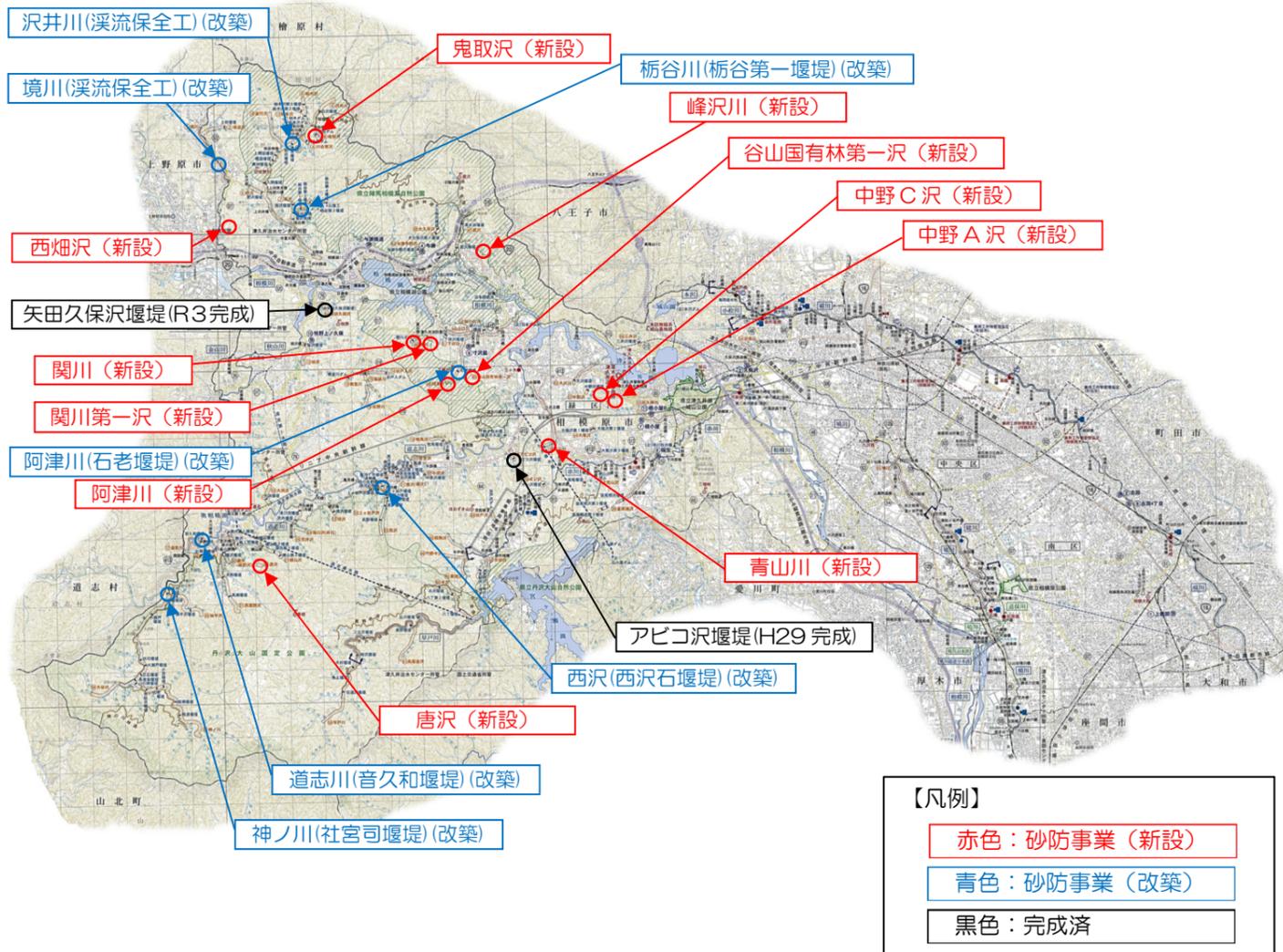


## 位置図

当センターでは、65 溪流の 101 箇所を砂防指定地に指定しています。

当センターが管理している砂防堰堤は 132 基あり、そのうち、透過型砂防堰堤は 13 基、不透過型砂防堰堤は 119 基あります。

現在、11 箇所の砂防堰堤の新設整備、5 箇所の既設砂防堰堤及び 2 箇所の溪流保全工の改築整備を進めています。



# さぼうじぎょう 砂防事業



矢田久保沢堰堤（令和4年3月）

土砂災害から生命を守る取組み

## 事業の目的と概要

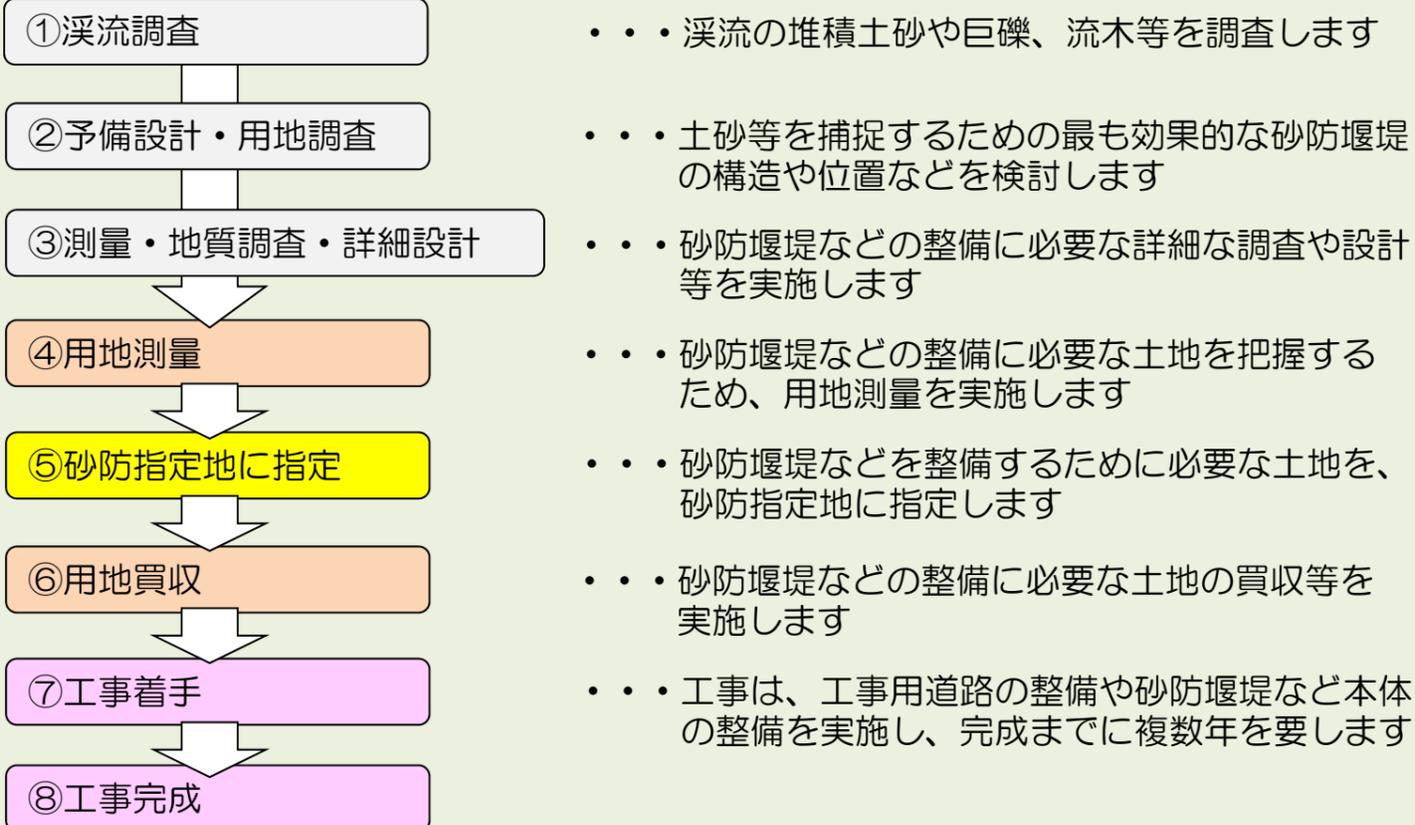
砂防事業は、大雨などにより発生する土石流<sup>※1</sup>などの土砂災害から、人家や公共施設（道路、官公署、学校、病院など）を守るため、砂防法に基づき砂防指定地に指定した溪流において、砂防堰堤<sup>※2</sup>や溪流保全工<sup>※3</sup>などの砂防設備を整備するものです。

当センターでは、過去に土砂災害が発生した溪流や今後、土砂災害の発生のおそれのある溪流において、砂防堰堤の新設や老朽化した既設砂防堰堤及び溪流保全工を改築する事業を進めています。（裏面「位置図」参照）

- ※1 山や谷の土砂や石などが水と一緒に流れて溪流を下流に流す現象
- ※2 土石流など上流から流れ出る大量の土砂や流木を受け止め、下流の土砂災害を防止する施設
- ※3 水の流れの勢いを弱めたり、川底の土砂が下流に流れないようにするための「床固工」や水の力で川岸がけずられたりしないように、川岸の表面を保護する「護岸工」などを組み合わせ、土砂や水を下流に安全に流す施設

## 事業の流れ

### 砂防事業の標準的な流れ



## 砂防堰堤の種類

砂防堰堤には、透過型と不透過型の2種類のタイプがあります。

- 透過型砂防堰堤<sup>とうかがたさほうえんてい</sup>：普段は水と土砂を流し、土石流発生時に巨石や流木などを捕捉します。
- 不透過型砂防堰堤<sup>ふとうかがたさほうえんてい</sup>：普段は堰堤背面に土砂などを貯めることにより、勾配がゆるくなることで水の流れが遅くなり、川底が削られるのを防ぐとともに土石流発生時に巨石や流木などを捕捉します。

## 砂防設備の整備事例

### 砂防堰堤の新設事例【矢田久保沢堰堤（緑区日連）】



整備前



整備完了（不透過型砂防堰堤）

### 溪流保全工の新設事例【連行沢（緑区佐野川）】



整備前



整備完了（護岸工・床固工）

### 溪流保全工の改築事例【沢井川（緑区佐野川）】



整備前



整備完了（護岸工）

### 砂防堰堤の効果事例【アビコ沢堰堤（緑区青野原）】

アビコ沢堰堤（透過型砂防堰堤、平成29年度完成）では、令和元年台風第19号で発生した土石流を捕捉しました。



完成当時の状況



土石流の捕捉状況